

国 語（2年生） 学習案内

◎中学校の国語科では、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」を目標としています。

◎そして中学2年生の国語では主に次のような教材を扱う予定です。場合によっては別の教材に替えることもあります。

期	月	学習内容	期	月	学習内容	期	月	学習内容
1 学 期	4	知識・技能 活用のない自立語 漢字の成り立ち まちがえやすい漢字 敬語	2 学 期	8	知識・技能 活用のある自立語 漢字の多義性	3 学 期	1	知識・技能 社会生活と言語コミュニケーション 付属語のいろいろ 同音の漢字 類縁語・対義語・多義語・同音語 思考力・判断力・表現力等 学び方 さまざまな考えを踏まえ討論をする 豚 走れメロス 「連作ショートショート」を書く
	5	社会で求められる表現 話し言葉と書き言葉		9	思考力・判断力・表現力等 持続可能な未来を創るために —不平等のない社会を考える—		2	
	6	思考力・判断力・表現力等 虹の足 いろいろな立場や考えを踏まえる タオル 新聞の投書を書く		10	紙の建築 坊っちゃん 夏の葬列 構成を明確にして説明文を書く 敦盛の最期—平家物語—		3	
	7	日本の花火の楽しみ 水の山富士山 課題を設定して伝える 手紙・メールを整える		11	随筆の味わい—枕草子・徒然草— 二千五百年前からのメッセージ —孔子の言葉—			
		夢を跳び 相違点を明確にして説明文を書く SNS から自由になるために 脚本で動きを説明する		12	短歌の味わい ガイアの知性 映像作品の表現を考える 確かな根拠をもとに意見文を書く			

評価の観点

この3つの観点を
評価していきます

主体的に学習に取り組む態度

→どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送ろうとしているか

言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に
して、思いや考えを伝え合おうとしているか。

・自己の課題の調整力 ・粘り強さ

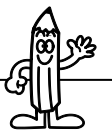


知識・技能

→何を理解しているか、何ができているか

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の
言語文化に親しんだり理解したりしているか。

- ・言葉の特徴や使い方
- ・情報の扱い方
- ・我が国の言語文化



思考力・判断力・表現力等

→理解していること・できることをどう使っているか

筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を
養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高
め、自分の思いや考えを確かなものになっているか。

・話すこと、聞くこと ・書くこと ・読むこと

★評価の方法

国語科では、3つの観点を主に次のような方法で評価します。

○知識・技能

小テストや定期テスト等を通して、知識の習得や概念的な理解を調べたり、その知識や技能を用いる場面を設定し、
習熟度を測ったりします。主に漢字や古典、文法、書写、情報の扱い方や読書等で評価します。

○思考力・判断力・表現力等

小テストや定期テスト、レポート、論述やグループでの話し合い、発表、作品の制作などを通し、思考力や判断力、
表現力を評価します。主に記述された文章やまとめ方、発表等での話し方、聞き方、物語文や論説文の読
解内容を評価します。

○主体的に学習に取り組む態度

小テストや定期テスト、ノートやプリント、ワーク等を通して、「知識・技能」を習得したり「思考力、判断力、表現
力等」を身に付けたりするために、自分の学習状況を把握し学習の進め方について試行錯誤するなど、自分の学習を調
整しながら学ぼうとしているかどうかという意欲面を評価します。また、粘り強く取り組んでいるかどうかも大切です。
そのために、決められたことや板書を書き写すだけでなく、自分なりに考えたことや調べたことを書き加えられ
ているかを確認します。さらに、提出物や課題を忘れずに取り組んでいるかどうかや、授業での様子を評価します。